

ごあいさつ

平素は、社会福祉法人光徳寺善隣館 中津学園の事業・活動にあたり、多大なご支援ご協力をいただき誠にありがとうございます。

この度、社会福祉法人光徳寺善隣館では、福祉型障がい児入所施設である中津学園の園舎の建て替えを行い、令和7年4月の新築・供用を予定しております。

工事期間中につきましては、安全・環境面にも留意し、地域の皆様、近隣関係施設等へ最大の配慮をしていく所存ですが、何かとご迷惑、ご不便おかけいたしますことをご容赦頂きたく、謹んでお願い申し上げます。

旧園舎は、昭和36年に新築されて以来、62年が経ち老朽化が進行し、建物の傷みも激しく、雨漏りなどの補修工事を毎年行っている状況でありました。加えまして将来想定されています「南海トラフ地震」による津波や、園舎背後にある淀川水系による大雨浸水等の被害を考えて、入所している子どもたちや職員の安心・安全の園舎づくりが急務となっております。

また、園舎建替え工事に際しましては、完成までの間に子どもたちが暮らす仮園舎の確保や引越し、支援学校への送迎など、園舎建設以外の準備や諸費用も大きく、さらに、昨今の建築資材・建築工事費の高騰に対応するため、設計変更等も行いつつ、新園舎の完成を目指しているところでございます。

皆様方には、これまで以上のご理解・ご支援をいただき、またこの間多くのご寄付を頂いており、心よりお礼申し上げますとともに、今後とも、変わらぬご理解ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2024年6月
社会福祉法人光徳寺善隣館
理事長 佐伯 祐善



寄付の方法

ゆうちょ銀行：所定の振込用紙にて振込
口座記号番号：00930-5-335931
加入者名：社会福祉法人 光徳寺善隣館
フク コウトクジゼンリンカン
>> 3,000円 / 5,000円 / 10,000円
10,000円以上（ご自由に設定いただけます）

＜お問い合わせ先＞
社福法人光徳寺善隣館 法人事務局内中津学園建替準備室
（担当：河崎、小林）

電話 06-6136-3300
FAX 06-6376-1267

※ご寄附頂いた方には、心ばかりの返礼品（佐伯祐三展覧会グッズ）を用意しております。また、御芳名を新園舎整備にて刻印し顕彰させていただきます。
なお、寄付金は確定申告時に寄付金控除が受けられます。

新しい100年の笑顔を支える 光徳寺善隣館 中津学園の新園舎づくり

2024年5月27日起工



記載の内容は、2024年5月27日時の計画です

社会福祉法人光徳寺善隣館
(2024-06-19)

中津学園 100年の歩み (園舎のうつりかわり)

光徳寺善隣館開設当時の様子
大正11年(1922年)ごろ



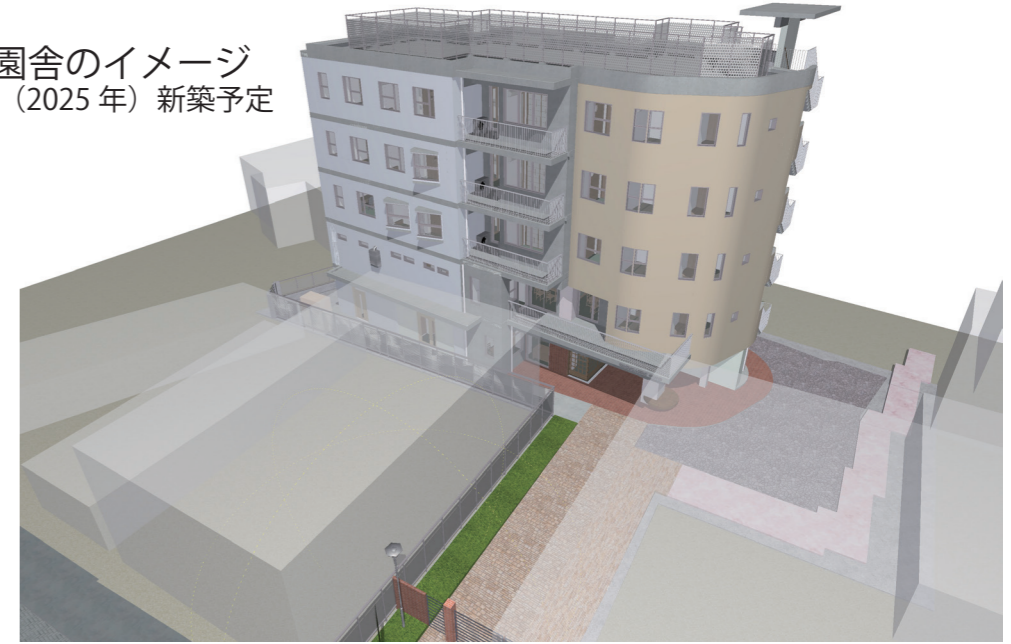
中津学園開設当時の園舎の様子
昭和36年(1961年)開設



建替前の園舎
昭和48年(1973年)増築



新しい園舎のイメージ
令和7年(2025年)新築予定



笑顔が集まる新しい園舎づくり

園舎建替計画の概要

計画敷地：大阪市北区中津二丁目5番4号

敷地面積：6他番22他 (計558.75㎡の一部)

建築面積：252.3㎡ / 延べ面積：1,074.5㎡

構造規模：鉄筋コンクリート造・5階建て

用途：福祉型障がい児入所施設

35室 (うち5室を短期入所に空床利用)

工事予定：着工：2024年6月～完成：2025年3月

建築主：社会福祉法人光徳寺善隣館 理事長 佐伯 祐善

設計監理：CASE まちづくり研究所 (ケース一級建築士事務所)

応援団推進 近畿大学 寺川研究室

工事施工：株式会社 林建設



南側 立面図

子どもたちひとりひとりの生活・成長・個性を支える新しい園舎づくり

○子どもたちの個性と成長に応じた生活環境づくり

- 『居室：5～6室(名)』のユニットを基本とし、子どもたちの多様な個性や成長に応じた生活環境をつくります
- フロアのグループは、2つのユニット(10～11名)で構成します
- リビング・ダイニングはじめ、浴室(シャワー)やキッチン、スタッフルームを各階に配置し、フロアグループごとに生活環境をつくります
- 一部(2室)を事務管理フロアに設け必要なケアに応じて活用し、ユニット・グループの構成は、小規模グループケアや感染症拡大予防など、様々なケア環境に対応します

○子どもたちの多様なつながり・出会いづくり

- 『広場』から『ピロティ・ホール』を一体利用し、子どもたち同志の交流のほか、学園をはじめ光徳寺・霊園の利用者や地域交流行事など、多様なつながり・出会いがある場所とします

○100年の歩みを刻む『メモリアルプロムナード』

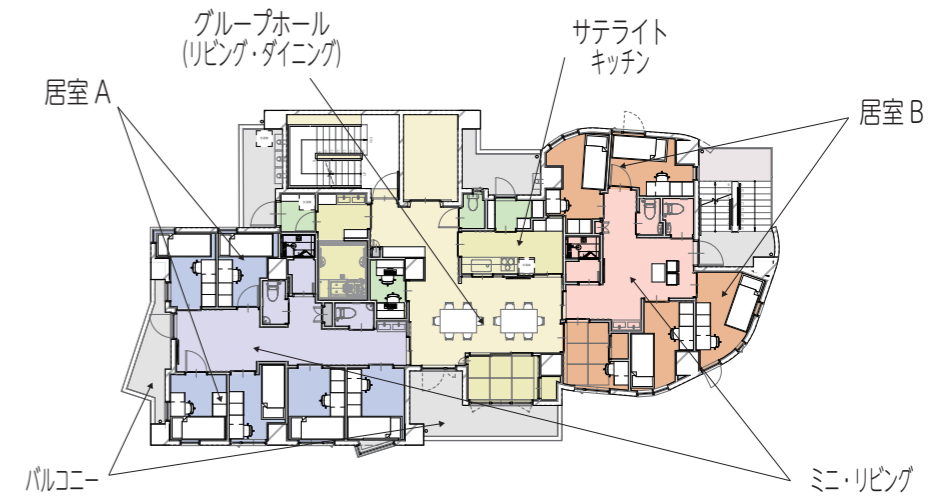
- 『アプローチ』は、光徳寺善隣館 中津学園の100年を超えるセツルメントの歴史や佐伯祐三(画家)生誕からの歩みなどを刻む『メモリアル・プロムナード』とします

○災害に強い安全な園舎づくり

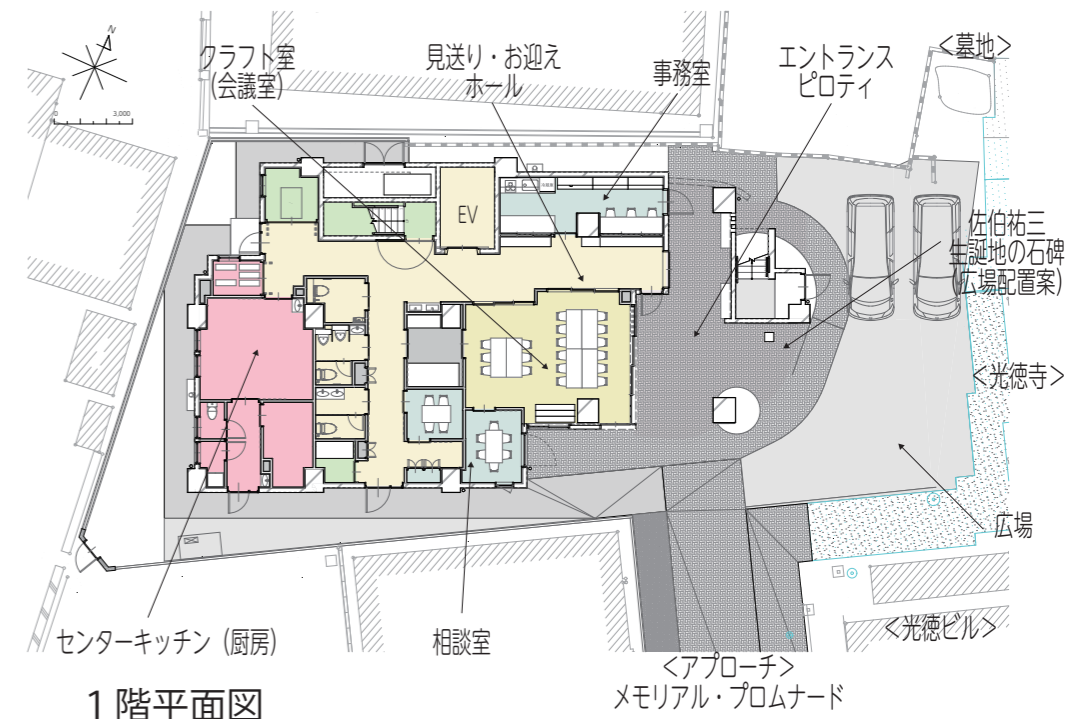
- 浸水災害に備え、子どもたちの居室を上階に配置します(最上階にストックルームを配置)
- 災害時の緊急避難に活用する屋上や適所のバルコニーを設けます

○安心・見守り環境づくり

- 事務管理フロア(2階)を中心に、各階のスタッフルームとエントランス横の事務室など、適切なスタッフゾーンの配置により、子どもたちの見守り・ケア環境をつくります



基準階平面図 (こどたちが生活する階の平面図)



1階平面図